

カンキツグリーニング病 持込み診断のご案内

沖縄県ではカンキツグリーニング病まん延防止のため、持込み診断を実施しています（無料）。

カンキツグリーニング病とは？

世界的に重要なかんきつの病害。**感染すると数年後に枯れる。**

病気の広まり方：ミカンキジラミが媒介、病気の木からの取り木・接ぎ木

病気の治療方法：**なし**。感染源となる病気の木は速やかに伐採処分する。

ミカンキジラミ

成虫



2mm

幼虫

感染



枯死



カンキツグリーニング病の症状

下の図のように、木の一部の枝が枯れたり、右の図のような特徴のある葉が見られます。

枝枯れ



主脈の黄化



まだら退緑



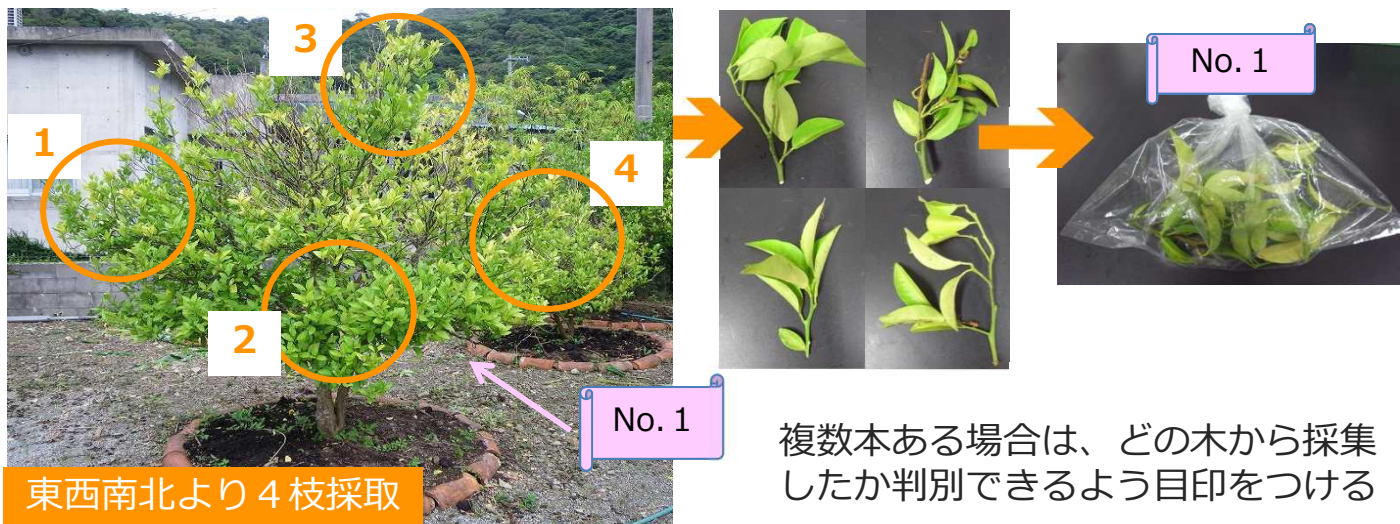
脈間黄化



黄化

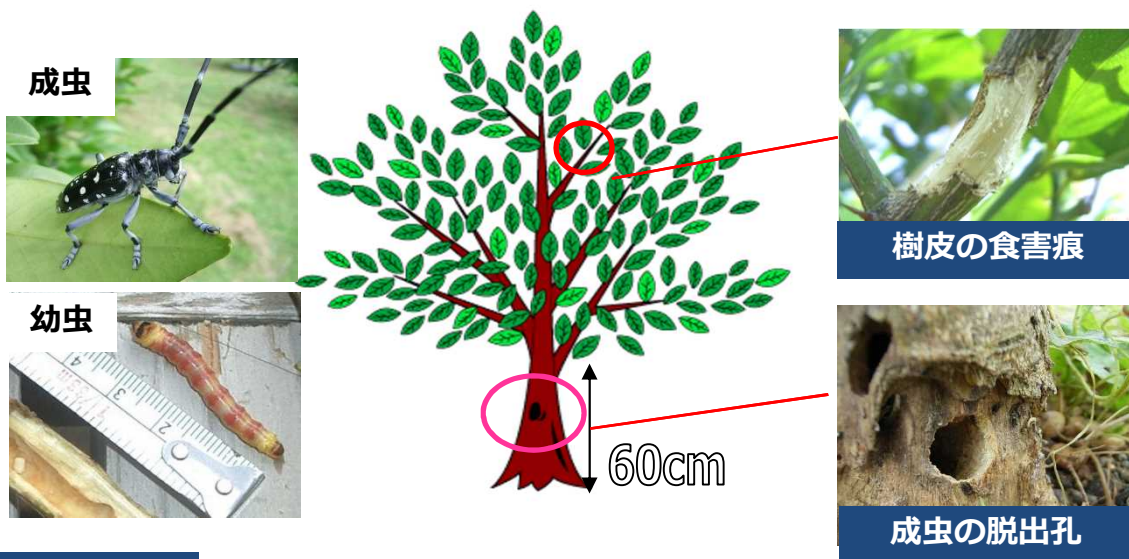
サンプルの採集方法

4方向から症状のある葉(5枚程度)を含む枝を1本ずつ、合計4本採取し、まとめて袋にいれる。持込みはお住まいの市町村役場をお願いします。



ゴマダラカミキリの被害

ゴマダラカミキリによる被害もカンキツグリーンング病と同様の症状を引き起こします。サンプル採取の際は、右図のような被害がないかも確認してください。



カミキリムシ対策

- ①脱出孔に専用殺虫剤をまいた後、肥料等をまき、樹勢を高める。
- ②4月までに株元から高さ60cmまで、ネット等を巻く（産卵防止）

持込み診断の依頼やお問い合わせは下記をお願いします。

- * 市町村役場農林水産担当課
- * 病害虫防除技術センター 本所: 098-886-3880 宮古: 0980-73-2634 八重山: 0980-82-4933